【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和7年4月1日(2025.4.1)

【国際公開番号】WO2023/238176
【出願番号】特願2024-526025(P2024-526025)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｋ　5/12(2006.01)
Ｆ０２Ｆ　7/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｋ　5/12　　Ｅ
Ｆ０２Ｆ　7/00　　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】令和5年2月3日(2023.2.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内燃機関の気筒列方向の一端側の端面に取り付けられたマウントブラケットであって、
上記内燃機関を車体に対して取り付けるためのマウント部を複数有し、
複数の上記マウント部は、上記内燃機関の一端側の端面の前方側に突出する互いに独立した膨出部分により構成されているマウントブラケット。
【請求項２】
複数の上記マウント部は、上記内燃機関のシリンダ軸線に沿った上下方向に延びるよう形成されている請求項１に記載のマウントブラケット。
【請求項３】
複数の上記マウント部のうちの少なくとも１つは、上記内燃機関のクランクシャフト軸方向視で、上記上下方向に沿ったその中心線がシリンダ軸線に対して傾くように形成されている請求項２に記載のマウントブラケット。
【請求項４】
互いに隣接する上記マウント部同士は、互いにリブで連結されている請求項２または３に記載のマウントブラケット。
【請求項５】
複数の上記マウント部に連結された複数のリブを有し、
上記内燃機関のクランクシャフト軸方向視で、複数の上記マウント部と、複数の上記リブと、を繋いだ輪郭線が環状に連続するよう形成されている請求項２または３に記載のマウントブラケット。
【請求項６】
上記膨出部分は、裏側の肉がくり抜かれた断面半円筒形状である請求項１に記載のマウントブラケット。
【請求項７】
上記膨出部分は、上記内燃機関のシリンダ軸線に沿った上下方向に延びるよう形成され、下端がマウントブラケットの当該内燃機関に対する止め点を指向する請求項１に記載のマウントブラケット。